

# がんとの 向き合い方



第4回がんメタボロミクスセミナー  
日本対がん協会会長  
垣添忠生先生講演会

医師であり

がん患者であり

がんで妻を亡くした

遺族でもある

元国立がんセンター総長の

垣添忠生先生が

いま、庄内の地で伝える

私たちへのメッセージ

ハイブリッド  
開催

会場参加150名程度  
オンライン参加150名程度

入場無料  
要申込

2024  
2.10<sup>±</sup>  
13:30~15:00

鶴岡市先端研究産業支援センター  
レクチャーホール

山形県鶴岡市覚岸寺字水上 246 番地 2



問い合わせ先

0235-64-0980

E-mail: info@ncc-tmc.jp

国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点 がんメタボロミクス研究室

〒997-0052 山形県鶴岡市覚岸寺字水上 246 番地 2 鶴岡市先端研究産業支援センター内

かきぞえ ただお  
 垣添 忠生 先生 プロフィール

国立がんセンター名誉総長、公益財団法人日本対がん協会会長

1941年4月10日、大阪生まれ。東京大学医学部医学科卒業後、同大学附属病院で研修し、都立豊島病院、医療法人藤間病院外科勤務。1972年から東京大学医学部泌尿器科文部教官助手となって膀胱がんの基礎研究に携わり、国立がんセンター研究所に通って研究を続ける。1975年、国立がんセンター病院泌尿器科に勤務。同病院手術部長、第一病棟部長、副院長を経て1992年1月に病院長、7月に中央病院長、2002年4月に総長に就任。2007年4月、国立がんセンターを退職し、名誉総長、公益財団法人日本対がん協会会長に就任する。

専門は泌尿器科学だが、発がん全般、特に膀胱発がんや前立腺発がんにも強い関心を持っている。立場上、がんの診断、治療、予防に幅広く関わり、全がんに目配りしてきた。がん予防、がん検診、緩和医療に対する関心も強い。

国立がんセンター田宮賞、高松宮妃癌研究基金学術賞、日本医師会医学賞を受賞、並びに瑞宝重光賞などを受賞、2019年12月より日本学士院会員。

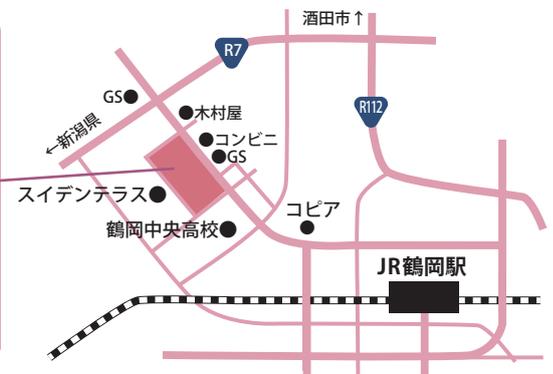
- 主な著書 『発がんからみた膀胱がんの臨床』（メジカルビュー社）  
 『がんと人間』共著（岩波新書）  
 『患者さんと家族のためのがんの最新医療』（岩波書店）  
 『前立腺がんで死なないために』（読売新聞社）  
 『妻を看取る日』（新潮社）  
 『悲しみの中にいるあなたへの処方箋』（新潮社）  
 『がんと人生』（中央公論新社）  
 『巡礼日記 亡き妻と歩いた600キロ』（中央公論新社）  
 『「カキゾエ黄門」漫遊記』（朝日新聞出版）など



 会場（鶴岡市先端研究産業支援センターレクチャーホール）へのアクセス

JR 鶴岡駅から車で5分  
 鶴岡 IC から車で10分

お車をご利用の際は、会場敷地内の駐車スペースをご利用いただけますが、混雑する場合がありますのでお早めにお越しください。



参加申込方法

会場参加ご希望の方は①②③の方法で、オンライン参加（Zoom 視聴）ご希望の方は③の方法で国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点 がんメタボロミクス研究室にお申し込みください。

①TEL：0235-64-0980 ②FAX：0235-64-0981 ③Email: info@ncc-tmc.jp

参加者名（フリガナ）	連絡先（事業所名・電話など）

申込締切  
 2/2（金）

申込フォーム



主催：（公財）庄内地域産業振興センター

共催：（国研）国立がん研究センター、慶應義塾大学先端生命科学研究所からだ館、（公財）日本対がん協会

後援：山形県、鶴岡市、（公財）やまがた健康推進機構（日本対がん協会山形県支部）、山形県医師会、（一社）鶴岡地区医師会、（一社）鶴岡地区歯科医師会、鶴岡地区薬剤師会、（一社）酒田地区医師会十全堂、南庄内緩和ケア推進協議会、日本海総合病院 鶴岡市立庄内病院、（一社）鶴岡サイエンスパーク